

サンクスペース

取付説明書 — ドア —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 本体の施工は、サンクスペース取付説明書(Z124)で施工してください。
- ドアに使用するガラスは別途市販品を購入してください。ガラスのサイズ・厚さには制限があります。
- 施工終了後、取扱説明書を施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

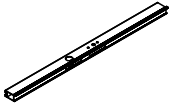

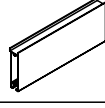
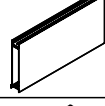
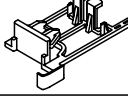
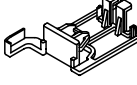

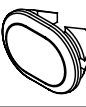
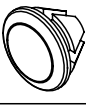
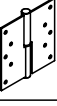
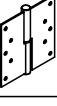


注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

■梱包明細書

① ドア本体セット

名 称	略 図	員 数	
		左吊元用	右吊元用
ロック側框		1	1
丁番側框		1	1
上棧		1	1
下棧		1	1
框キャップ1		1	1
框キャップ2		1	1
框取付裏板		4	4
穴隠しキャップ大		4	4
穴隠しキャップ小		5	5
上丁番		1	1
下丁番		1	1

① つづき

名 称	略 図	員 数	
		左吊元用	右吊元用
取付ネジ付レバーハンドル		1	1
角芯付レバーハンドル		1	1
内側座裏板		1	1
外側座裏板		1	1
座		2	2
シリンダー		1	1
サムターン		1	1
キー		5	5
①-① φ5×60ナベタッピンネジ2種G=30		12	12
①-② M4×12サラ小ネジ		20	20
①-③ M4×19ナベ小ネジ		2	2
取付説明書	—	1	1

2] グレチャン20m巻き

名 称	略 図	員 数				
		3mm用	4mm用	5mm用	6mm用	6.8mm用
グレチャン3mm用		1	—	—	—	—
グレチャン4mm用		—	1	—	—	—
グレチャン5mm用		—	—	1	—	—
グレチャン6mm用		—	—	—	1	—
グレチャン6.8mm用		—	—	—	—	1

3] 中棧セット
オプション

名 称	略 図	員 数
中棧		1
3]-① φ5×60ナバタッピンネジ2種G=30		4

4] ドアクローザー
オプション

名 称	略 図	員 数
本体		1
キャップ		1
本体ブラケット		1
ブラケットリンク		1
アーム		1
アーム止めネジ		2
スパナ		1
ドアクローザー取付型紙	—	1
4]-① M5×12サラ小ネジ		4
4]-② M5×16サラ小ネジ		3
4]-③ φ5×25サラタッピンネジ1種		4
4]-④ M4×12サラ小ネジ		2

1. 基本寸法と各部の名称

1-1 標準タイプ

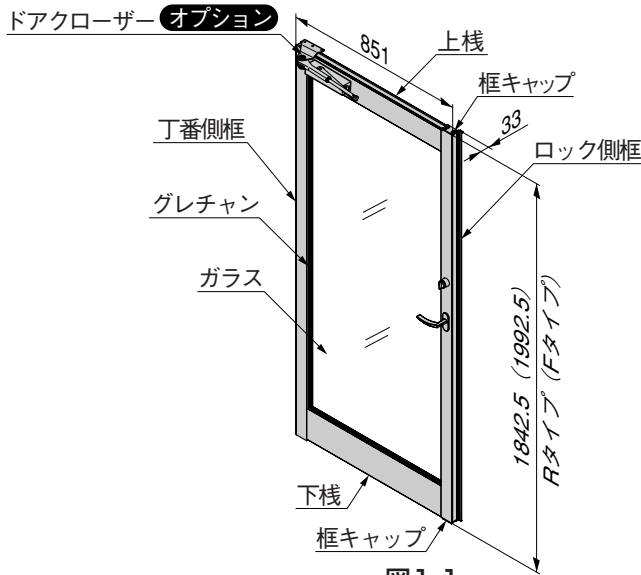


図1-1

表1-1 標準タイプ

	ガラス寸法	厚み
Rタイプ	1594×745	3~6.8
Fタイプ	1744×745	3~6.8

ポイント

- ガラスは市販品を購入してください。
- ガラス寸法・厚みは厳守してください。

1-2 中棧タイプ

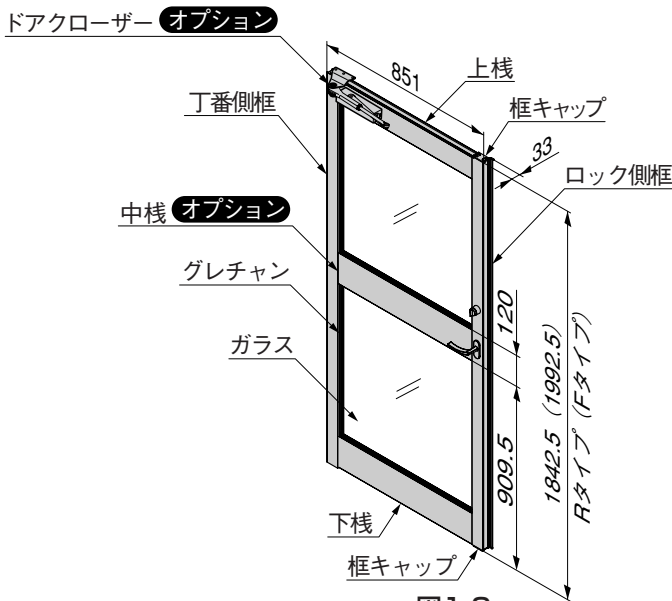


図1-2

表1-2 中棧タイプ

	ガラス寸法	厚み	
Rタイプ	上	720×745	3~6.8
	下	768×745	3~6.8
Fタイプ	上	870×745	3~6.8
	下	768×745	3~6.8

ポイント

- ガラスは市販品を購入してください。
- ガラス寸法・厚みは厳守してください。

1-3 ドアクローザー オプション

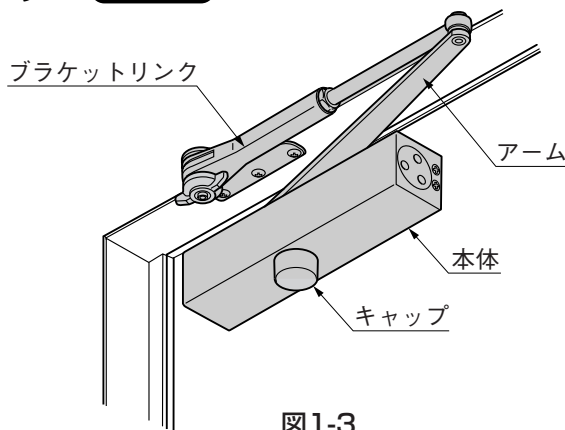


図1-3

2. 丁番側框と下棧の組付け

2-1 標準タイプの場合の下棧の組付け

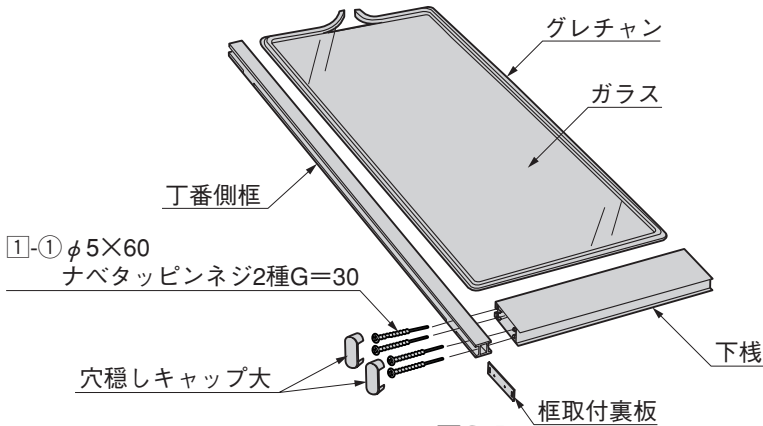


図2-1

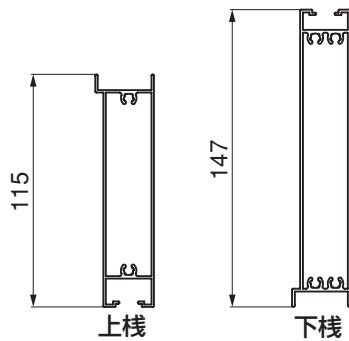


図2-2

- ① 丁番側框に框取付裏板を入れて、下棧を①-①で取付けてください。

補足

- 上棧と下棧の形状は異なります。図2-2参照
- ② 孔隠しキャップ大を取付けてください。
 - ③ 図のようにガラスにグレチャンを巻きつけた後、ガラスをはめ込んでください。

2-2 中棧タイプの場合 オプション

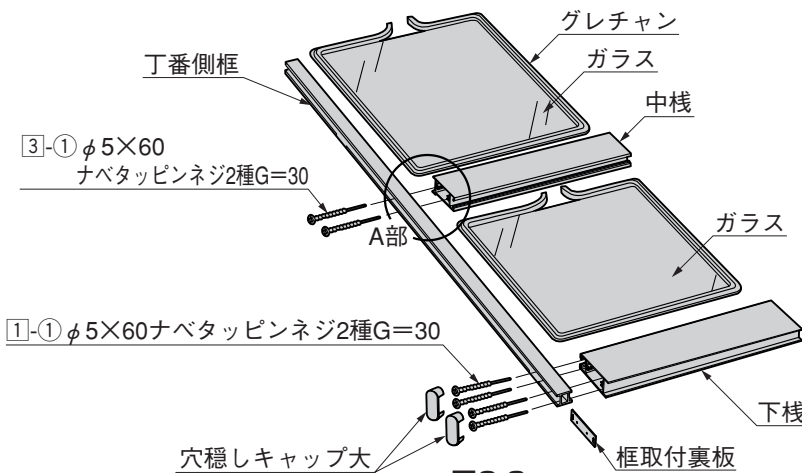


図2-3

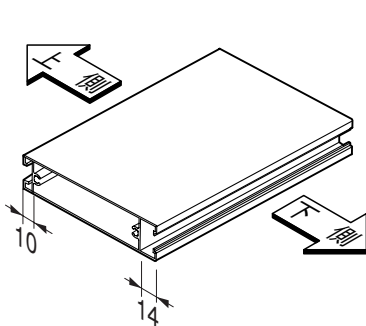


図2-4 A部詳細

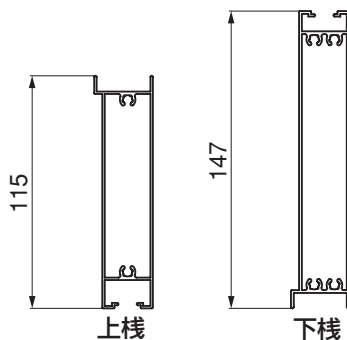


図2-5

- ① 丁番側框に中棧を③-①で取付けてください。

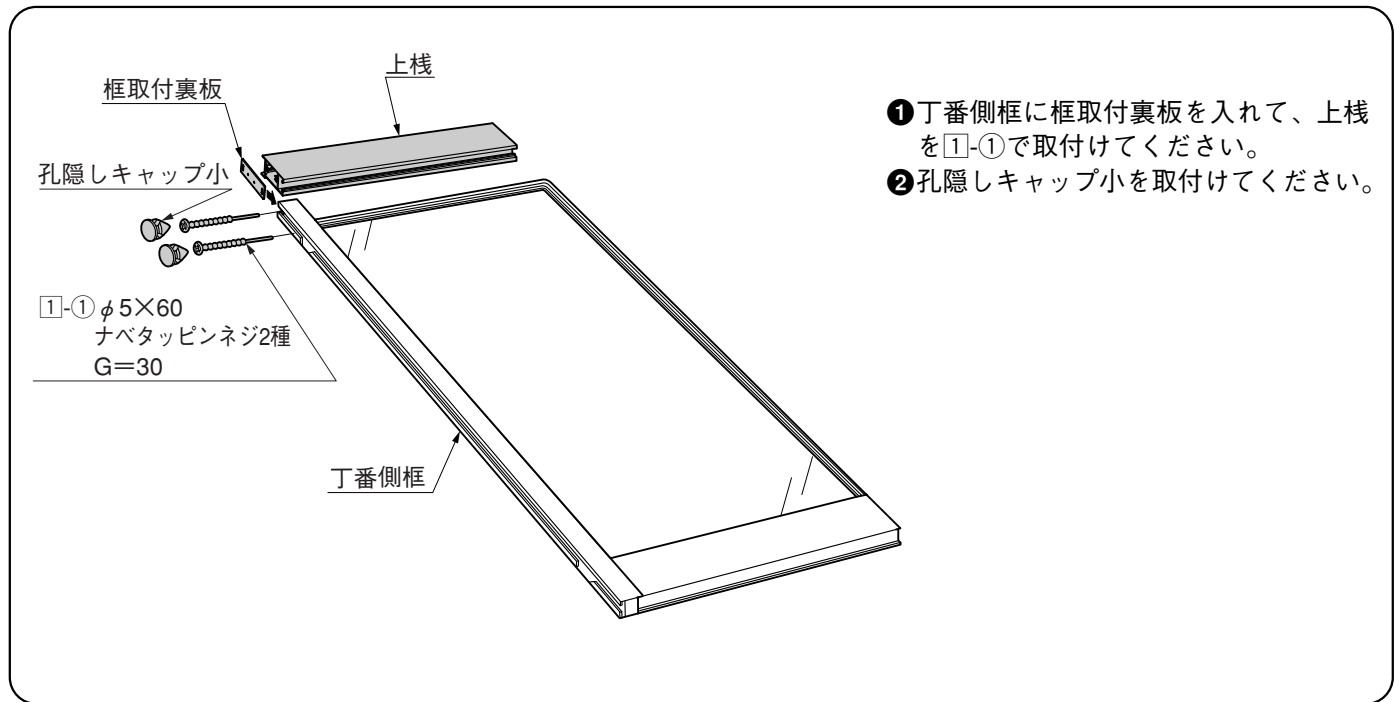
ポイント

- 中棧には上下があります。注意してください。図2-4参照
- ② 図のようにガラスにグレチャンを巻きつけた後、ガラスをはめ込んでください。
 - ③ 丁番側框に框取付裏板を入れて、下棧を①-①で取付けてください。

補足

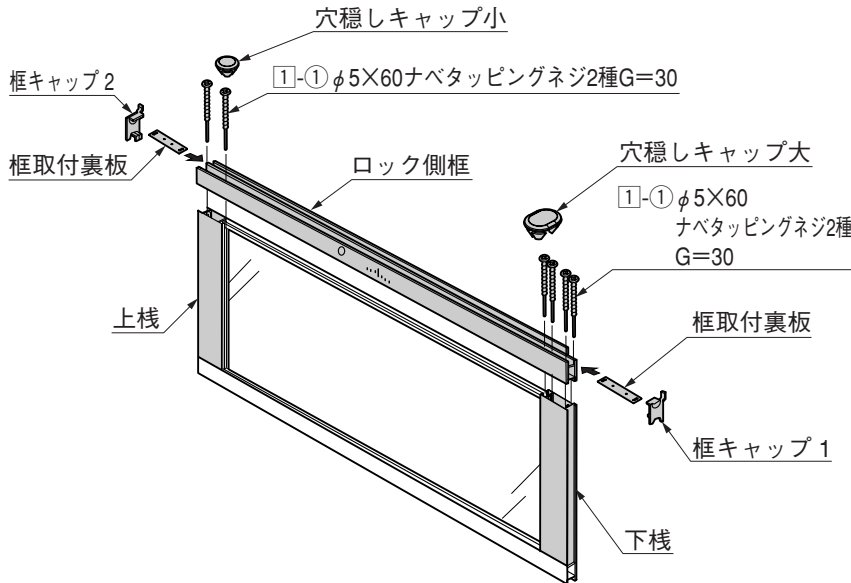
- 上棧と下棧の形状は異なります。図2-5参照
- ④ 孔隠しキャップ大を取付けてください。

3. 上棧の組付け



4. ロック側框の取付け

4-1 標準タイプの場合

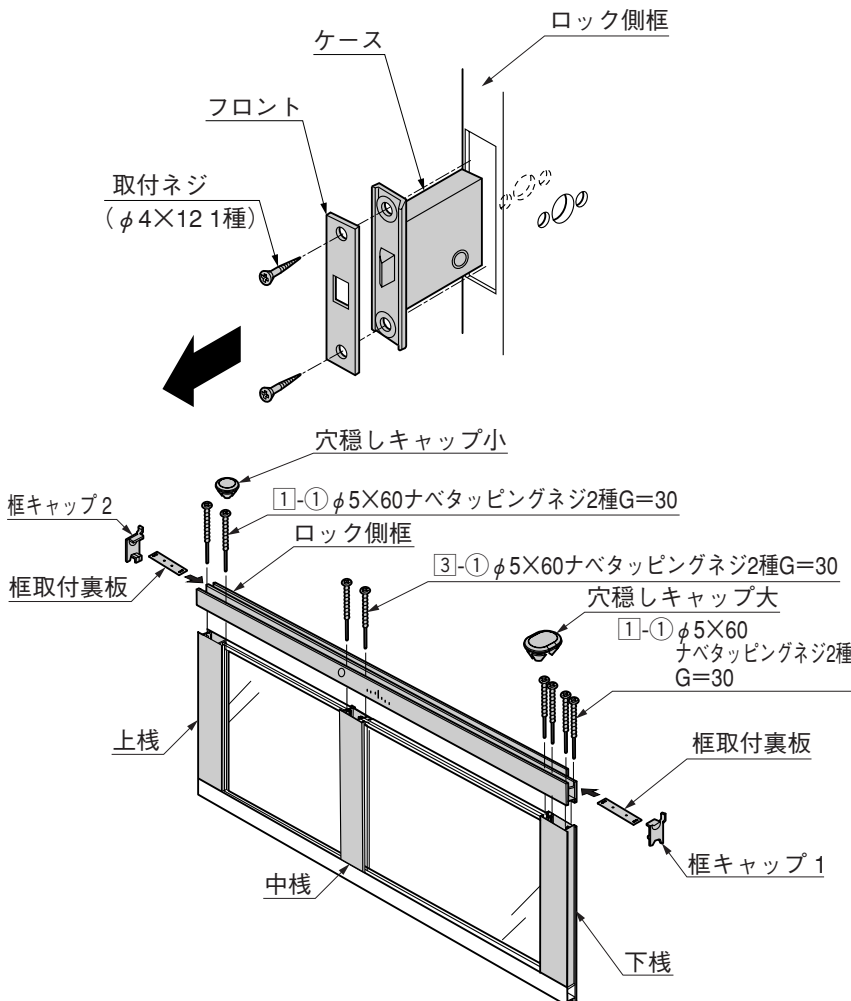


- ① ロック側框に枠取付裏板を入れて、上棧・下棧を①-①で取付けてください。
- ② 穴隠しキャップ大、穴隠しキャップ小をロック側框に取付けてください。

ポイント

- 穴隠しキャップ大、穴隠しキャップ小は両端部の穴にはつけないでください。枠キャップ1、枠キャップ2と干渉します。
- ③ ロック側框の上下に、枠キャップ1、枠キャップ2を取付けてください。

4-2 中棧タイプの場合 オプション



- ① ロック側框についている錠を一旦外してください。

- ② ロック側框に③-①で中棧を取付けてください。
- ③ ロック側框に枠取付裏板を入れて、上棧・下棧を①-①で取付けてください。
- ④ 穴隠しキャップ大を下棧に、穴隠しキャップ小を上棧に取付けてください。

ポイント

- 穴隠しキャップ大、穴隠しキャップ小は両端部の穴にはつけないでください。枠キャップ1、枠キャップ2と干渉します。
- ⑤ ロック側框の上下に、枠キャップ1、枠キャップ2を取付けてください。
 - ⑥ フロント・ケースを再度、ロック側框に取付けてください。

5. シリンダーとレバーハンドルの組付け

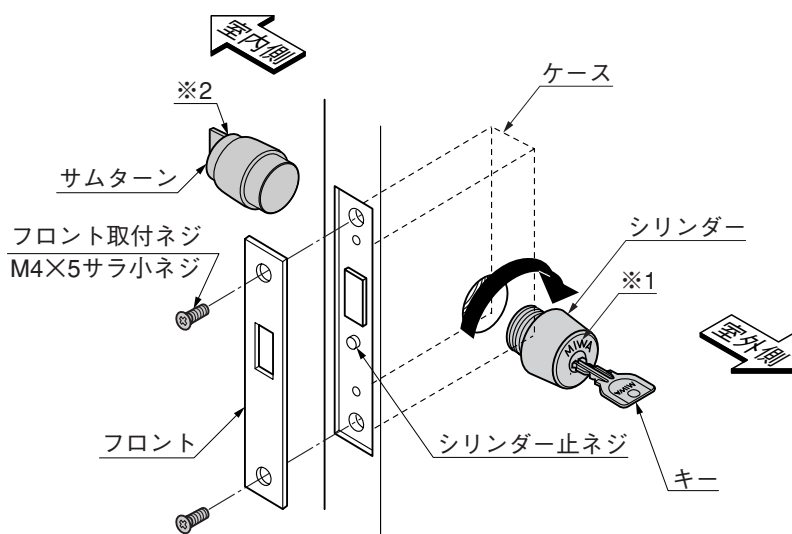


図5-1

- ① フロント取付ネジをはずして、フロントを取りはずしてください。
- ② シリンダー止ネジをゆるめてください。
- ③ キーをシリンダーに差込んで、キーを水平にしたまま室外側からケースにねじ込んでください。
- ④ MIWAマークが上になる位置まで戻してください。(※1)
- ⑤ サムターンを室内側からケースにねじ込んでください。
- ⑥ MIWAマークが上になる位置まで戻してください。(※2)
- ⑦ シリンダー止ネジを締めてください。

補足

- シリンダー止ネジは出張らないようにしてください。

- ⑧ フロントを取付けてください。

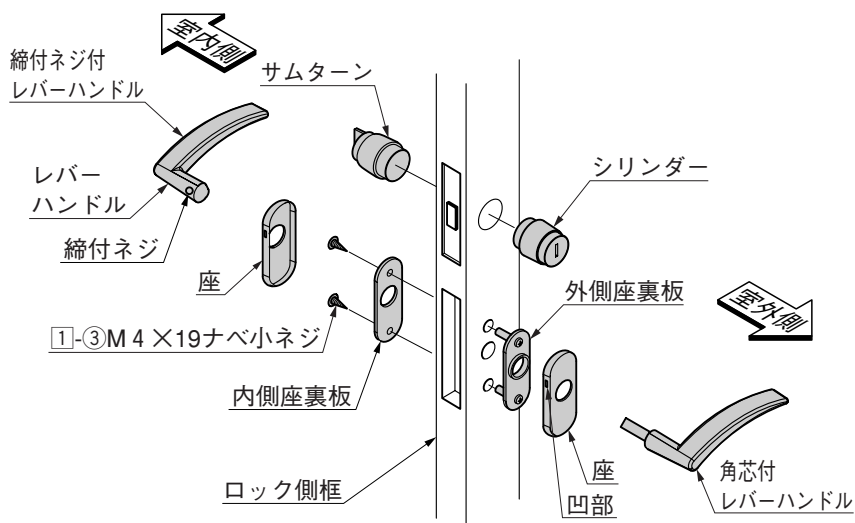
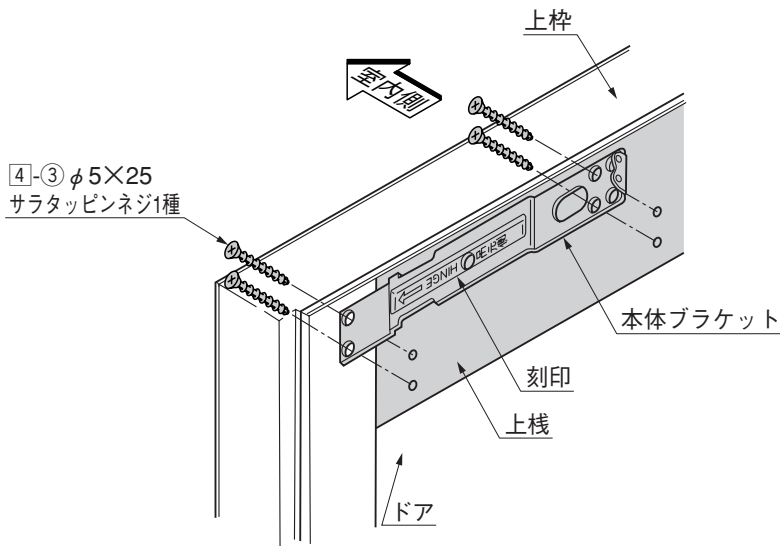


図5-2

- ⑨ 図のようにロック側框の室内側から内側座裏板と室外側から外側座裏板をはさんで、①-③で取付けてください。
- ⑩ 内側座裏板と外側座裏板の溝に、座の凹部をあわせて取付けてください。
- ⑪ 角芯付レバーハンドルを錠に差込んで、締付ネジ付レバーハンドルを取付けて、締付ネジで固定してください。

6. ドアクローザーの取付け **オプション** ※図は外観右吊元の場合です。

6-1 本体ブラケットの取付け

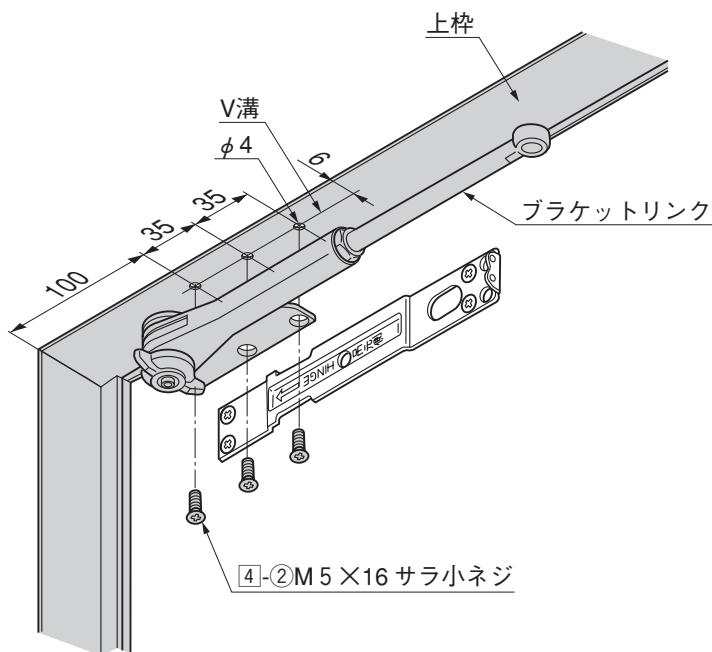


- 1 ドアの上枠にドアクローザー取付型紙を使って穴をあけてください。

補足

- 穴の径や位置などはドアクローザー取付型紙の指示に従ってください。
- 2 本体ブラケットの刻印の矢印を吊元側に向けて、4-1で取付けてください。

6-2 ブラケットリンクの取付け



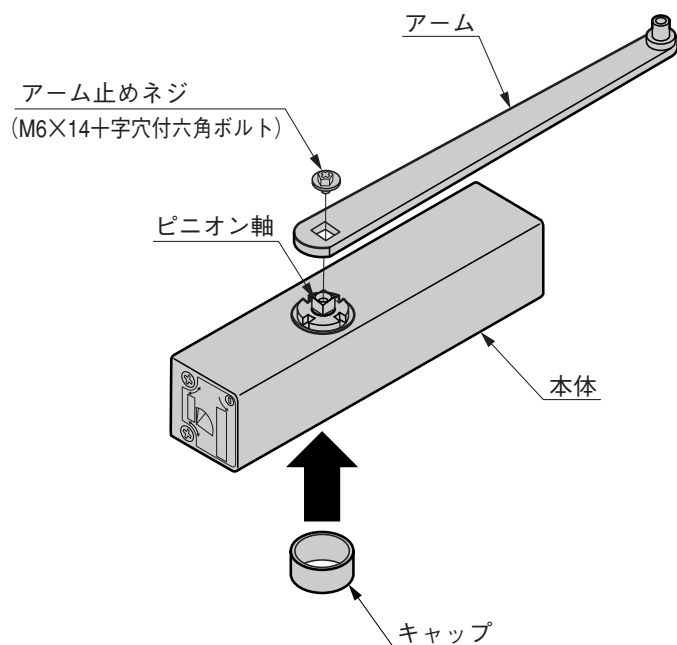
- 1 上枠に図の様にφ4の下穴をあけてください。

補足

- 下穴をあける位置にはV溝があります。
- 2 ブラケットリンクを上枠の下穴に、4-2で取付けてください。

6. つづき **オプション** ※図は外観右吊元の場合です。

6-3 アームの取付け

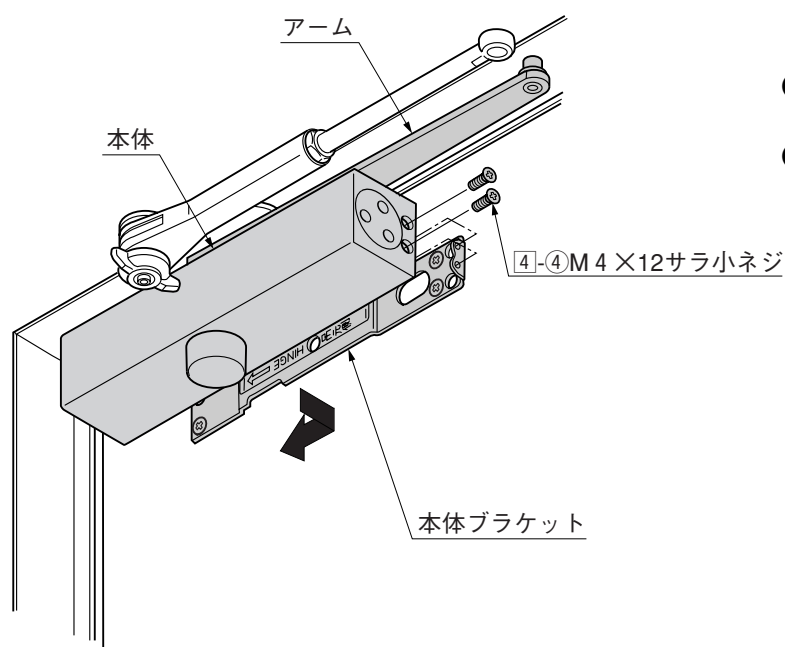


- ① ピニオン軸にアームをはめ込んで、アーム止めネジで固定してください。
- ② キャップを下からはめてください。

補足

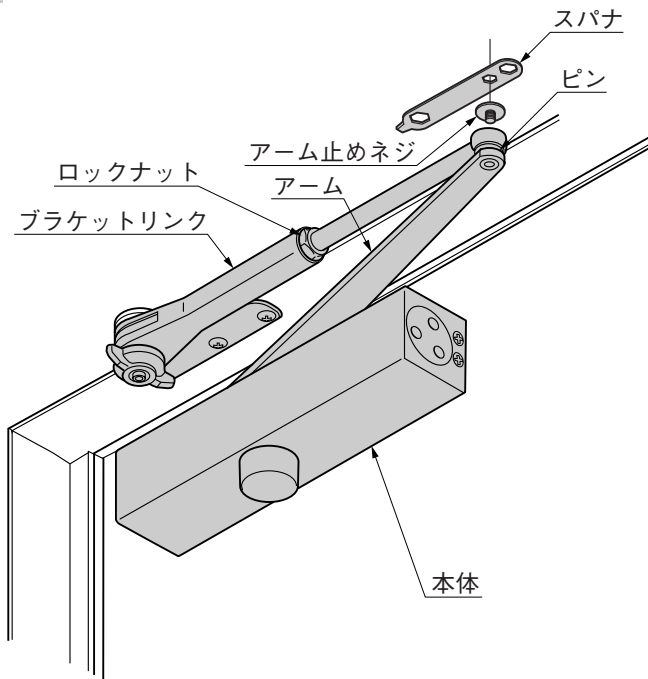
- キャップは『パチッ』と音がするまで、はめてください。

6-4 本体の取付け



- ① 図のように本体を本体ブラケットに、スライドしてはめ込んでください。
- ② 図のように本体を④-④で固定してください。

6-5 アームの連結



- 1 図のようにアーム先端をブラケットリンクにピンを差込んで、アーム止めネジで固定してください。

補足

- アーム止めネジの固定には付属のスパナを使用してください。
- 2 ロックナットを締付けてください。

6-6 ドアクローザーのストップ角度の調整

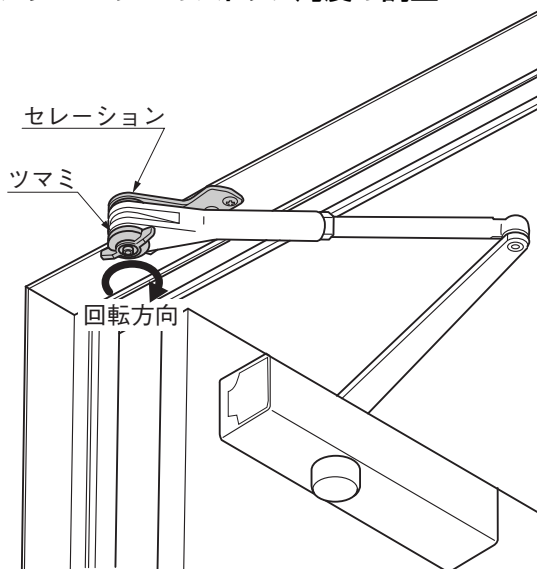


図6-1

- 1 ドアをストップする角度まで開いて、ツマミを時計回りに90度まわしてください。

ポイント

- ツマミを90度まわさないと、ストップ装置が故障する原因になります。

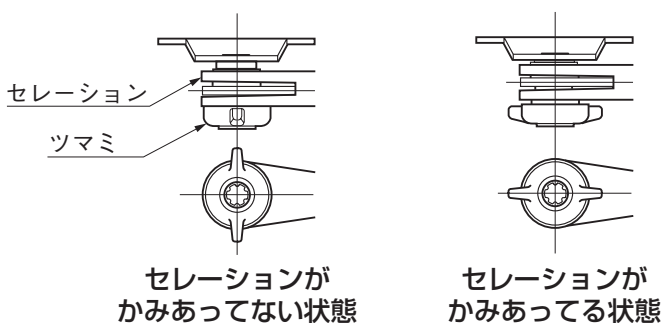
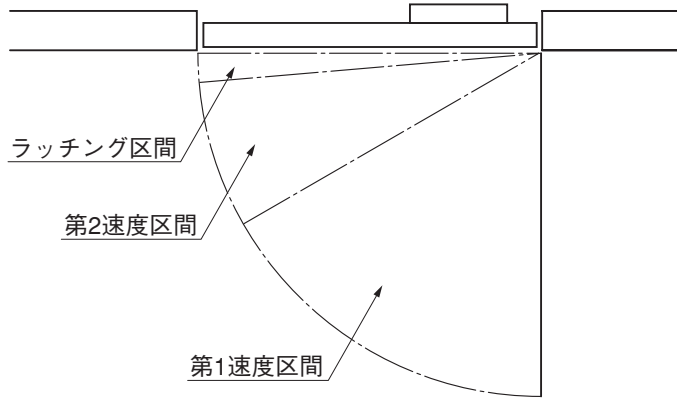


図6-2

- 2 90度回らない場合はストップ装置のセレクション部のかみ合いを確認してください。かみ合いが悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ツマミを時計回りにまわしてください。

6. つづき **オプション** ※図は外観右吊元の場合です。

6-7 ドアクローザーの閉じ速度の調整 ※ドアの閉じ速度は5秒～8秒の間で閉じるように、調整してください。



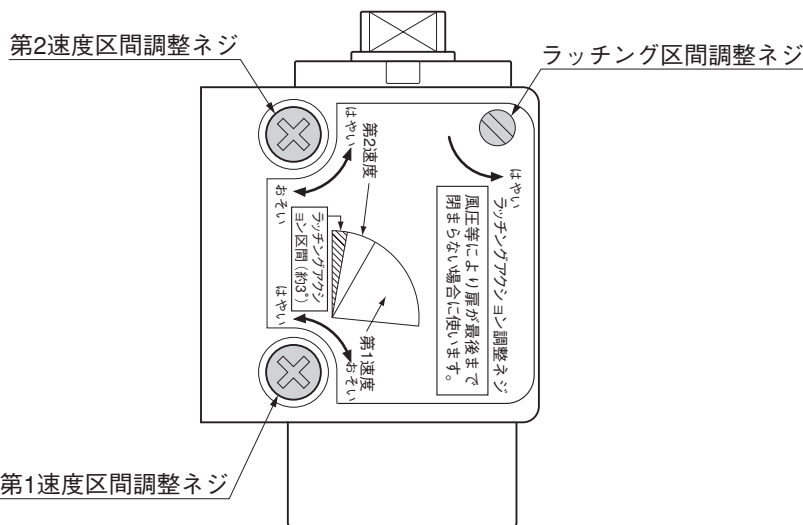
- 閉じ速度は本体の吊元側についている各調整ネジで調整してください。調整ネジは遅くなる方から速くなる方へ調整してください。

注意

- 閉じ速度は、速くしすぎないでください。指などをはさむおそれがあります。

補足

- ドアクローザーは第1速度区間では速く、第2速度区間でゆっくり閉まり、ラッチング区間ですばやく閉まるように作動します。それぞれの目的に応じて、調整を行ってください。



ポイント

- 第1速度区間調整ネジ、2速度区間調整ネジは反時計回りに1回転以上回転しないでください。油漏れの原因になります。
- ラッチング区間調整ネジは反時計回りに2回転以上回さないでください。

取説コード

Z137

200309A_1001